

今後の財政見込みは

質問

現在の市の予算規模は、平成24年度一般会計予算で、約220億円であるが、今後の適正予算規模をどのように考えているのか。

いるのか。

また、適正予算規模（190億円）にするのは、何年後か。

企画部長

今回のシミュレーションに、庁舎関連予算も含んでい

企画部長

23年度決算をもとに試算すると、適正予算規模は約190億円と考えている。

また、適正予算（190億円規模）に、33年度には、しなければならぬ。

質問

当局のシミュレーションには、庁舎関連予算は含まれて

質問

25年度・26年度の市債・基金の予測は。

企画部長

予算ベースで、今年度、財政調整基金の残高が31億円。

25年度で、8億5千万円ほどの歳入不足で、基金からの繰り入れが必要となる。

26年度で、23億5千万円の財源不足で、この時点で財政調整基金の残高がなくなるのではないかと考えられる。

なお、これらは、25年度で臨時財政対策債が打ち切られると仮定してのシミュレーションである。

質問

予想される不足部分の対策は。

企画部長

経常的に行われる支出の削減。

また、各特別会計（23年度決算で合計22億5千万円の繰出し）への繰出金の圧縮に努めていきたい。

市長

将来に持続可能な財政運営をしていかなければならない。

河川対策の現状と今後は

質問

南海トラフ地震の予測が報道され、愛

知県西部は、防潮堤が機能すれば浸水は

限定的との見解が掲載され

た。当市の問題点と対策は。

経済建設部長

河川堤防は、治水上おおむね整備されている。

問題点は、堤防高を確保できない箇所が一部残っていること。

今後、県防災会議の結果を踏まえて、河川堤防の再点検を行い、対策を検討していきたい。

質問

近隣市町村・県・国に対策について働きかけを強くしてもらおう必要があると考えるが。

市長

今後も、要望していきたい。



愛西市内(木曾川・長良川)の風景